


## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 14	災害時の飲料水確保	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	大規模災害時において、管路等の損傷により漏水が発生した場合でも、市民生活に必要な飲料水を確保します。		
取組の概要	災害時における飲料水確保については、2池以上ある配水池・配水塔の耐震化にあわせて、1池に緊急遮断弁を整備し、一定規模の地震に対して緊急遮断弁が閉止することで、1池分の飲料水を確保します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2池以上ある配水池・配水塔の耐震化及び緊急遮断弁等の整備</li> <li>①黒川高区配水池(令和4年度未完了)</li> <li>②千代ヶ丘配水塔(1号塔・2号塔)(令和6年度未完了)</li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2池以上ある配水池・配水塔の耐震化及び緊急遮断弁の整備</li> <li>①黒川高区配水池の耐震化及び緊急遮断弁の整備を推進します。</li> <li>②千代ヶ丘配水塔(2号塔)の耐震化及び緊急遮断弁の整備を推進します。</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)		・2池以上ある配水池・配水塔の耐震化及び緊急遮断弁等の整備 ①黒川高区配水池については、整備を完了しました。 ②千代ヶ丘配水塔(2号塔)の耐震化及び緊急遮断弁の整備を推進しました。									
指標分類	指標名 説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	成果 指標	災害時の確保水量		計画目標値	-	16.5万	16.5万	16.6万	-	16.6万	m³
		説明	災害時の確保済水量	実績	16.4万	16.5万					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
	水道	予算額	取組9「水道施設の耐震化」に含まれる。								
		繰越									
		予算額									
		決算額									
	予算額					0					
繰越					0						
予算額					0						
決算額					0						

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)  災害時の飲料水確保については、黒川高区配水池の整備が完了し、千代ヶ丘配水塔の整備を引き続き推進する必要があります。
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由  成果指標である「災害時の確保水量」は、目標を達成しており、大規模災害時において管路等の損傷により漏水が発生した場合でも、市民生活に必要な飲料水の確保に繋がっていることから、施策に貢献しています。
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性  大規模災害時において、管路等の損傷により漏水が発生した場合でも、市民生活に必要な飲料水を確保できるよう、配水池・配水塔の耐震化及び緊急遮断弁の整備を引き続き推進します。
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 15	<b>施設の停電対策・浸水対策</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	停電や河川氾濫等が発生した場合においても、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の供給維持を図ります。		
取組の概要	停電対策については、これまで商用電源の二重化や非常用自家発電設備等の整備を進めてきましたが、近年の災害時における復旧時間を踏まえ、長期停電への対策として非常用自家発電設備の燃料タンクの増設・増強を実施します。 浸水対策については、洪水ハザードマップの浸水区域に含まれる施設について、被害の回避・低減を図るため、対策を実施します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期停電への対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>①燃料タンクの増強</li> </ul> </li> <li>・浸水想定区域内に含まれる施設の浸水対策(耐水化)               <ul style="list-style-type: none"> <li>②浸水対策</li> </ul> </li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期停電への対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>①燃料タンクの増強については、潮見台配水所及び高石配水塔への整備の検討を実施します。</li> </ul> </li> <li>・浸水想定区域内に含まれる施設の浸水対策(耐水化)           <ul style="list-style-type: none"> <li>②浸水対策については、稲田取水所及び工水管3・6号さく井への浸水対策を推進します。</li> </ul> </li> </ul>
----------	---

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・長期停電への対策 ①燃料タンクの増強については、潮見台配水所の対策に向けた設計を実施しました。また、高石配水塔の対策に向けた設計委託業務を推進しました。 ・浸水想定区域内に含まれる施設の浸水対策(耐水化) ②浸水対策については、稲田取水所の対策工事に着手しました。また、工水管3・6号さく井は止水扉など昨今の世界的な部品供給体制の混乱により納期に遅れが生じたため、浸水対策工事の実施は令和5年度となりました。
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	非常用自家発電燃料タンクの増強(計画期間内)	計画目標値	-	-	1	1	7	7		施設
		説明	長期停電のための非常用自家発電設備のタンク増強整備が完了した施設数	実績	-	-					
2	活動指標	施設の防水壁等整備(計画期間内)	計画目標値	-	2	4	4	5	5		施設
		説明	浸水対策のための防水壁等の整備が完了した施設数	実績	-	0					
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)	
								水道
予算 決算 (単位： 千円)	予算額	水道事業については、取組18「施設の計画的更新」に含まれる。						1,300,000
	繰越							
	予算額							
	決算額							
	予算額	45,540				45,540	1,300,000	
	繰越							
	予算額							
	決算額	0						0

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	4	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		停電対策については、潮見台配水所及び高石配水塔の対策実施に向けて、引き続き取り組みを推進する必要があります。 浸水対策については、目標を下回りましたが、効率的に対策が実施できるよう工事間の調整を行い、引き続き取組を推進する必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		停電対策においては、自家発電設備の燃料タンクの増強に関する詳細設計委託業務を推進し、浸水対策においては、令和4年度に完成を予定していたさく井の対策工事は、昨今の世界的な部品供給体制の混乱により納期に遅れが生じたため、令和5年度の完成となったものの稲田取水所の対策工事は着手しており、停電や河川氾濫等が生じた場合においても市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水、工業用水の供給維持に繋がっていることから、施策に貢献しています。


### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		停電や河川氾濫等が発生した場合においても、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水を安定的に供給するため、停電対策・浸水対策を引き続き推進します。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課 経営戦略・危機管理室〔危機管理〕

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持	
	施策 4	水道・工業用水道の危機管理対策	
	取組 16	災害対応能力の強化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		大規模地震や風水害などに対する災害対応能力の強化を進めることにより、発災時の水道サービス低下による市民生活への影響を最小限に抑えます。	
取組の概要		大規模地震や激甚化・頻発化する風水害などを踏まえ、PDCAサイクルによる訓練の実施、振り返り、改善を継続的に行い、上下水道局防災計画及び業務継続計画の検証・見直しによる実効性の向上、災害対応能力の強化を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルによる上下水道局防災計画及び業務継続計画の検証・見直し</li> <li>・職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施</li> <li>・地域住民の協力による応急給水訓練の継続的な実施</li> <li>・応急復旧用資材の備蓄や燃料・薬品の確保など事前対策(予防対策)の推進</li> <li>・水道技能スペシャリスト制度による水道技能の維持向上及び継承</li> <li>・災害用通信体制の構築</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施</li> <li>②ビデオ会議システム及び内線電話システムの構築</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①職員を対象とした訓練・研修の継続的な実施については、情報連絡訓練や発災時参集訓練、相互応援訓練等を7回実施し、実施後のアンケート調査結果による理解度向上率も目標を達成し、災害対応力の強化を図ることができました。 ②ビデオ会議システムについては、令和5年度に予定されている第3庁舎への移転後の運用開始に向け、調整を図りました。また、内線電話システムについては、本庁舎、長沢浄水場、等々力水処理センターの3拠点におけるシステム構築が完了しました。</p>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	局訓練・研修後のアンケート調査結果による理解度	計画目標値	-	80	80	80	80	80		%
		説明	理解度向上者数/アンケート回答者×100(%) (年平均)	実績	-	94					
2			計画目標値	-							
		説明		実績							
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		水道	予算額 53,475 繰越 予算額 決算額 42,627				
工水	予算額 2,668 繰越 予算額 決算額 1,320				2,668 0 1,320	100,000	

(単位：千円)

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		災害時の対応については、PDCAサイクルによる訓練の実施、振り返り、改善を継続的にを行い、実効性の向上、災害対応能力の強化を進めることが求められます。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		局防災計画等の改訂を進め、より実効性を高めていることや、各種災害対策訓練の実施により防災対応能力の向上が図れたことから、施策に貢献しています。


### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	II	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		防災計画と業務継続計画については、訓練等を行った結果から常にブラッシュアップしていき、実効性を高めていきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課 経営戦略・危機管理室〔危機管理〕

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持	
	施策 4	水道・工業用水道の危機管理対策	
	取組 17	災害時の連携強化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		大規模地震や風水害などに対する災害対応能力の強化を進めることにより、発災時の水道サービス低下による市民生活への影響を最小限に抑えます。	
取組の概要		大規模地震や激甚化・頻発化する風水害などを踏まえ、広域的な応援体制の構築につながる大都市等との訓練の継続的な実施により、災害時の連携強化を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業体と連携した訓練の継続的な実施</li> <li>・(公社)日本水道協会、大都市間等との広域連携による応援体制の強化</li> <li>・民間事業者との協力体制の充実</li> <li>・工業用水道利用者協議会等との連絡調整による工業用水道利用者との情報共有</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	①他事業体と連携した訓練の継続的な実施
----------	---------------------

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①他事業体と連携した訓練については、日本水道協会による訓練や、協定や覚書を締結している他都市間との相互応援訓練を7回実施し、災害時の連携強化を図ることができました。
--	--

指標分類	指標名 説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 繰越 予算額 決算額	取組16「災害対応能力の強化」に含まれる。			
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	実効性を高めるための訓練を継続して行う必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	各種災害対策訓練の実施により防災対応能力の向上や災害時の連携が図れたことから、施策に貢献しています。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	II	災害時の連携を強化していくためには、事業体間の情報共有や訓練が重要であるため、引き続き取組を継続していきます。



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】	
	施策 5	水道・工業用水道の施設・管路の老朽化対策	
	取組 18	施設の計画的更新	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		施設の計画的更新により、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の安定給水が確保できます。	
取組の概要		アセットマネジメントに基づき、適切な維持管理を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、将来の更新需要の見通しを検討し、優先度を定めながら計画的な施設の更新を実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		アセットマネジメントに基づき、適切な維持管理を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、将来の更新需要の見通しを検討し、優先度を定めながら計画的な施設の更新を実施します。	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業</li> <li>・施設の更新・長寿命化 <ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場排水処理施設の更新の推進</li> <li>④高石配水塔の長寿命化の推進</li> </ul> </li> <li>・主要設備の計画的な更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤主要設備の更新の継続</li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業</li> <li>・施設の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場排水処理施設の更新の推進</li> </ul> </li> <li>・主要設備の計画的な更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤主要設備の更新の継続</li> </ul> </li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の更新・長寿命化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場排水処理施設の更新工事を推進しました。</li> <li>④高石配水塔の長寿命化工事を推進しました。</li> </ul> </li> <li>・主要設備の計画的な更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤千代ヶ丘送水ポンプ施設等の更新を推進しました。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場排水処理施設の更新工事を推進しました。</li> </ul> </li> <li>・主要設備の計画的な更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤稲田取水所 ニヶ領用水制水門(下水門)の更新工事を行いました。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	2,300,394				
	繰越	199,216			199,216		
	予算額	766,569			766,569		
	決算額						
工水	予算額	371,382				371,382	5,300,000
	繰越	314,605				314,605	
	予算額	521,318				521,318	
	決算額						

(単位：千円)

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		引き続き、アセットマネジメントに基づき、維持管理情報や健全度調査結果等から、更新もしくは長寿命化を適切に判断し、優先度を定めながら施設を計画的に更新・長寿命化を進める必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		各施設の更新、長寿命化を確実に進めており、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水、工業用水の安定給水に繋がっていることから、施策に貢献しています。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の安定給水を確保するため、引き続き、施設の計画的更新を推進します。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】	
	施策 5	水道・工業用水道の施設・管路の老朽化対策	
	取組 19	管路の計画的更新	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	管路の計画的更新により、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の安定給水を確保するとともに、漏水等による二次災害防止を図ります。		
取組の概要	口径350mm以下の小口径管路については、使用年数60年以内での更新を進めます。 口径400mm以上の中大口径管路は、材質や接手形式のほか、重要度や耐震性などを考慮し、計画的に更新を進めます。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新(計画期間内の更新延長160km)</li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新(計画期間内の更新延長2.5km)</li> </ul> </li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新の推進(計画期間内の更新延長160km)</li> <li>①更新時期を迎えた管路の更新を推進します。(年間目標40km)</li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新の推進(計画期間内の更新延長2.5km)</li> <li>①更新時期を迎えた管路の更新を推進します。(3路線約2.5km)</li> </ul> </li> </ul>		
----------	--	--	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新の推進(計画期間内の更新延長160km)</li> <li>①管路の更新については、約48.1kmの更新を実施しました。</li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の更新の推進(計画期間内の更新延長2.5km)</li> <li>①管路の更新については、3路線約2.5kmの更新を推進しました。</li> </ul> </li> </ul>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	水道管路の更新延長(計画期間内)		計画目標値	-	40	80	120	160	160	km
		説明	計画期間内における水道管路の更新延長	実績	-	48.1					
2	活動指標	工業用水道管路の更新延長(計画期間内)		計画目標値	-	-	2.5	2.5	2.5	2.5	km
		説明	計画期間内における工業用水道管路の更新延長	実績	-	-					
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
予算 決算 (単位： 千円)	予算額	水道事業については、取組10「水道管路の耐震化」に含まれる。					
	繰越						
	予算額	1,066,629				1,066,629	1,700,000
	繰越	68,928				68,928	
予算額	204,721				204,721		
決算額							

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		引き続き、更新時期を迎えた管路の計画的な更新を進める必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		水道管路については、成果指標である「水道管路の更新延長」は、目標を達成し、工業用水道管路については更新工事を推進しており、市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水、工業用水の安定給水に繋がっていることから、施策に貢献しています。

### 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の安定給水を確保するため、引き続き、管路の計画的更新を推進します。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】	
	施策 5	水道・工業用水道の施設・管路の老朽化対策	
	取組 20	施設・管路の将来構想	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		拡張期に整備を進めてきた多くの施設や管路が今後一斉に更新時期を迎えることから、将来の需要動向を踏まえつつ、アセットマネジメントに基づく計画的な更新の実施に向け、検討を行います。	
取組の概要		中長期的な視点から重要度や経年度を考慮しつつ、財政収支との整合を図りながら、需要に応じた施設・管路の更新計画を策定するために、基幹管路の健全度調査等に基づく使用可能年数や水需要の変化等を踏まえた適正口径の検討などを実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度調査等に基づく基幹管路の使用可能年数の検討</li> <li>・水需要の変化等を踏まえた適正口径の検討</li> <li>・基幹管路の更新を見据えたバックアップ機能の強化(二重化・ネットワーク化)の検討・実施</li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水道利用者の需要動向を踏まえ、老朽化が進行する施設及び送水管路の更新に向けた検討・調整</li> </ul> </li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度調査等に基づく基幹管路の使用可能年数の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>①既設管の管体調査を実施します。</li> </ul> </li> <li>・水需要の変化等を踏まえた適正口径の検討</li> <li>・基幹管路の更新を見据えたバックアップ機能の強化(二重化・ネットワーク化)の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>②基幹管路の二重化・ネットワーク化の検討及び実施を行います。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●工業用水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水道利用者の需要動向を踏まえ、老朽化が進行する施設及び送水管路の更新に向けた検討・調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>③施設能力等の検討を行います。</li> <li>④工業用水道利用者の需要動向を踏まえた、送水管路の更新に向けた検討を行います。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度調査等に基づく基幹管路の使用可能年数の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①更新時に発生する撤去管の管体調査を実施し、データを蓄積しました。</li> </ul> </li> <li>・水需要の変化等を踏まえた適正口径の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>②今後予定している基幹管路の更新対象路線の適正口径の検討を行いました。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・基幹管路の更新を見据えたバックアップ機能の強化(二重化・ネットワーク化)の検討・実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>②基幹管路の更新を見据えたバックアップ機能の強化(二重化・ネットワーク化)の検討を進めるとともに、2路線の整備を実施しました。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工業用水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水道利用者の需要動向を踏まえ、老朽化が進行する施設及び送水管路の更新に向けた検討・調整                             <ul style="list-style-type: none"> <li>③④令和3年度までに実施した工業用水道利用者の需要動向調査の結果を踏まえ、工業用水道施設・管路の将来構想の検討について、川崎市上下水道局経営審議委員会へ諮問し、答申を受けました。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値								
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 繰越 予算額 決算額	水道事業については、取組10「水道管路の耐震化」に含まれる。			
工水	予算額	19,030				19,030	20,000
	繰越					0	
	決算額	17,490				17,490	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3 引き続き、将来の需要動向を踏まえつつ計画的な更新の実施に向け、検討を進める必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A 管体調査によるデータの蓄積、水需要の変化等を踏まえた適正な施設への検討、バックアップ機能強化に向けた計画的な更新工事の実施や検討を確実に推進しており、将来の需要動向を踏まえつつ、アセットマネジメントに基づく計画的な更新の実施に繋がることから、施策に貢献しています。

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I 市民生活や工業用水道利用者の経済活動に必要な水道水・工業用水の安定給水を確保するため、引き続き、計画的な更新の実施に向けた検討を推進します。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】	
	施策 6	水道・工業用水道の施設・管路の維持管理	
	取組 21	施設の維持管理	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		施設・管路などを適切に維持管理することで、機能を維持し、安定給水の確保、施設の長寿命化及び漏水等の防止を図ります。	
取組の概要		施設の日常点検、定期点検を適切な頻度、内容で実施し、また、点検等に伴い維持管理データを蓄積し、蓄積した維持管理データを効率的かつ効果的な維持管理へ活用します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設点検の定期的な実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の日常点検(巡視)、定期点検(月次・3か月・6か月・年次)を適切に実施します。</li> </ul> </li> <li>維持管理データの蓄積及び効率的かつ効果的な維持管理への活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>②施設の管理台帳から運転管理や点検調査等で得られた維持管理データを蓄積し、それらを活用して効率的かつ効果的な維持管理を実施します。</li> </ul> </li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設点検の定期的な実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の巡視及び定期点検を実施し、異常個所の早期発見や補修作業を適切に行い、施設の長寿命化を図ります。</li> </ul> </li> <li>維持管理データの蓄積及び効率的かつ効果的な維持管理への活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>②維持管理のより効率的、効果的な実施に向けて、維持管理データと設備台帳を統一的に管理するため、水道設備管理システムを適切に運用します。</li> </ul> </li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・施設点検の定期的な実施 ①浄水場、配水施設等の日常点検(巡視)、定期点検(月例、3か月、6か月、年次)を行い、異常個所の早期発見や補修作業を適切に実施しました。 ・維持管理データの蓄積及び効率的かつ効果的な維持管理への活用 ②より効率的、効果的な維持管理を実施するため、維持管理データと設備台帳を統一的に管理するシステムを適切に運用しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		水道	予算額 1,298,047 繰越 予算額 決算額 934,332				
工水	予算額 繰越 予算額 決算額 744,572	857,272			857,272 0 744,572	2,700,000	

(単位：千円)

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		適切な維持管理を継続的に行うことにより、施設の長寿命化を図りました。 より効果的、効率的な維持管理を実施するため、マイクロマネジメント実施に向けた維持管理データの蓄積、システムの運用を継続する必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		適切な維持管理を行い、施設の長寿命化に貢献しました。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		今後も継続して適切に維持管理を実施し、施設の長寿命化を図ります。



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水道・工業用水道施設・管路の適切な管理と更新【持続】	
	施策 6	水道・工業用水道の施設・管路の維持管理	
	取組 22	管路の維持管理	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水道・工業用水道管路の地下漏水を早期発見し、安定給水の確保と安全性の向上を図ります。	
取組の概要		河川を横断する管路など目視可能な箇所点検・調査を定期的実施するとともにICTや新技術を活用しながら地下漏水調査を実施し、漏水が発生した際には迅速に管路修理を実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の点検・調査及び修理               <ul style="list-style-type: none"> <li>①管路の点検・調査、修理の実施</li> </ul> </li> <li>・ICTなどを活用した地下漏水調査・水圧管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>②ICTなどを活用した地下漏水調査・水圧管理の実施</li> </ul> </li> <li>・給配水情報管理システムの活用・一部情報のウェブサイトでの公開               <ul style="list-style-type: none"> <li>③給配水情報管理システムの活用、一部情報のウェブサイトでの公開</li> </ul> </li> <li>・民間企業等との漏水検知に関する共同研究               <ul style="list-style-type: none"> <li>④民間企業等との漏水検知に関する共同研究の実施</li> </ul> </li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路の点検・調査及び修理           <ul style="list-style-type: none"> <li>①管路の点検・調査、修理を実施します。</li> </ul> </li> <li>・ICTなどを活用した地下漏水調査・水圧管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>②ICTなどを活用した地下漏水調査・水圧管理を実施します。</li> </ul> </li> <li>・給配水情報管理システムの活用・一部情報のウェブサイトでの公開           <ul style="list-style-type: none"> <li>③給配水情報管理システムを活用し、一部情報をウェブサイトでご覧するためのシステム構築に着手します。</li> </ul> </li> <li>・民間企業等との漏水検知に関する共同研究           <ul style="list-style-type: none"> <li>④民間企業等との共同研究に向けた調査を実施します。</li> </ul> </li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>・管路の点検・調査及び修理 ①河川を横断する管路や共同溝内の管路など目視可能な箇所点検・調査を定期的を実施し、異常がないことを確認しました。 ①漏水が発生した管路の修理を適切に実施しました。 ①自然漏水の漏水修理件数は1,350件でした。</p> <p>・ICTなどを活用した地下漏水調査・水圧管理 ②漏水の早期発見に向けて、IoT技術を活用した遠隔監視システムを使用した漏水調査を実施しました。 ②マッピングシステムを活用し、次年度以降の地下漏水調査区画の優先順位を定めました。 ②地下漏水調査を市内790km実施しました。 ②地下漏水発見効率は0.17件/kmでした。</p> <p>・給配水情報管理システムの活用・一部情報のウェブサイトでの公開 ③給配水情報管理システムを活用し、一部情報をウェブサイトで見覧するためのシステム構築に着手しました。</p> <p>・民間企業等との漏水検知に関する共同研究 ④民間企業に対し管路の維持管理や漏水調査に関する機器の情報収集やヒアリングを実施しました。</p>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	<b>地下漏水発見効率</b>		計画目標値	-	0.20	0.20	0.20	0.20		件/km
		説明	漏水調査1kmあたりの漏水発見件数	実績	0.20	0.17					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
<b>予算決算</b> (単位：千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)			
		水道	687,945				687,945		1,900,000		
	繰越	104,434				104,434					
	予算額	648,123				648,123					
	工水	予算額	42,409				42,409	300,000			
		繰越					0				
		予算額									
		決算額	27,228				27,228				

## 評価 (Check)

<b>今年度の取組内容に対する達成度</b>	<b>達成度区分</b> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	4	<b>実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)</b> 目標を下回りましたが、漏水件数自体が減少しており、それに合わせて調査延長1kmあたりの漏水件数も減少していると考えられることや、漏水が発生していない区画を選定した可能性もあると考えられるため、今後の推移を注視していきます。 管路の維持管理は、貴重な水資源を有効に活用し、道路陥没や浸水、水質事故などの二次災害にも影響を与えるため、迅速な漏水修理対応を行う必要があります。
	<b>貢献度区分</b> A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	<b>施策の貢献度区分を選んだ理由</b> 効率的な地下漏水調査を実施し、早急な地下漏水の発見、修理を図ることにより、適正な管路の維持管理に貢献しました。

## 改善 (Action)

<b>今後の取組の方向性</b>	<b>方向性区分</b> I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b> マッピングシステムを活用し、管路の布設状況や漏水履歴を考慮して地下漏水調査区画に優先順位を定め効率的な漏水調査を実施し、漏水修理を実施しました。 令和4年度は目標を下回りましたが、漏水発生件数自体が減少傾向にあり、それに合わせて調査延長1kmあたりの漏水発見件数も減少している可能性があるため、漏水発生件数の推移を注視する必要があります。 今後は、効率的な漏水調査を行うために地下漏水調査区画の優先順位や調査周期の見直しを行うとともに新技術に関する調査や共同研究などを実施しながら、現状の取組を継続して実施します。
------------------	--	---	---

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給【安全・安心】	
	施策 6	水道・工業用水道の施設・管路の維持管理	
	取組 23	管路付属物の維持管理	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	管路付属物を適切に維持管理することにより、安全な水の安定供給を確保します。		
取組の概要	送配水管において、漏水の大部分を占める管路付属物(空気弁・仕切弁等)の計画的な点検・調査及び修理を継続的に実施します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路付属物の的確な情報把握と計画的な点検・調査及び修理</li> <li>①管路付属物の点検・調査、修理の実施</li> </ul>		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路付属物の的確な情報把握と計画的な点検・調査及び修理</li> <li>①中大口径管路の長寿命化を図るために、管路付属物130箇所の点検・調査を実施します。</li> </ul>
----------	--

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>・管路付属物の的確な情報把握と計画的な点検・調査及び修理                  ①管路付属物の点検・調査を129箇所実施しました。</p>
---	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	中大口径管路の空気弁及び仕切弁点検箇所数(計画期間内)	計画目標値	-	130	260	390	520	520 (R4~7年度)		箇所
		説明	計画期間内における中大口径管路の空気弁及び仕切弁点検箇所数	実績	130	129					
2			計画目標値	-							
		説明		実績							
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
水道	予算額	16,317				16,317	70,000
	繰越					0	
	決算額	15,883				15,883	
工水	予算額	5,545				5,545	20,000
	繰越					0	
	決算額	5,787				5,787	

(単位：千円)

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		経年化が進む中大口径管路の機能を維持し安定給水を確保するため、中大口径管路付属物の点検・調査及び修理を継続的に実施するとともに、蓄積した維持管理データを活用し、効率的・効果的な維持管理を実施していく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		中大口径管路の点検・調査を実施し、健全度の確認や劣化したボルトの交換等の予防保全により安定給水を確保できていることから、施策である水道・工業用水道の管路の維持管理に貢献しています。

### 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		管路施設の安全と安定給水を確保するため、管路付属物の的確な情報把握と計画的な点検・調査及び修理を継続的に実施していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給【安全・安心】	
	施策 6	水道・工業用水道の施設・管路の維持管理	
	取組 24	<b>給水管の保全</b>	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		給水管からの漏水を防止することにより、良質で安全な水道水を安定して供給できるようにします。	
取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した給水管は、水質への影響や漏水による道路陥没などの二次災害のおそれがあることから、公道部と私有地の一部の老朽給水管を対象に更新します。</li> <li>・配水管が埋設されていない公道部で、給水管が輻輳する路線を対象に配水管を新設し、輻輳している老朽給水管を解消します。</li> </ul>	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管更新工事等に伴う給水管の更新               <ul style="list-style-type: none"> <li>①配水管更新工事等に伴う給水管の更新</li> </ul> </li> <li>・輻輳して埋設されている老朽給水管の解消               <ul style="list-style-type: none"> <li>②輻輳して埋設されている老朽給水管の解消</li> </ul> </li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管更新工事等に伴う給水管の更新           <ul style="list-style-type: none"> <li>①配水管更新工事等に伴い老朽給水管を更新します。</li> </ul> </li> <li>・輻輳して埋設されている老朽給水管の解消           <ul style="list-style-type: none"> <li>②配水管が埋設されていない公道部を対象に配水管を布設し、輻輳する老朽給水管を解消します。</li> </ul> </li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管更新工事等に伴う給水管の更新</li> <li>①配水管更新工事等に伴い老朽給水管を更新しました。</li> <li>・輻輳して埋設されている老朽給水管の解消</li> <li>②輻輳する老朽給水管の解消を3.2km実施しました。</li> </ul>
---	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	<b>輻輳老朽管対策管路整備</b>		計画目標値	-	3	6	9	11	11	km
		説明	輻輳老朽給水管対策路線の配水管布設延長 (km)		実績	3.7	3.2				
2				計画目標値	-						
		説明			実績						
3				計画目標値							
		説明			実績						

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 1,029,210 繰越 予算額 決算額 883,721				
	予算額 繰越 予算額 決算額				0		
						0	
						0	
						0	

(単位：千円)

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		老朽給水管の更新・解消を推進するためには、取組内容と目的を所有者・使用者へ丁寧に説明し、所有者・使用者から工事への協力・理解を得て、適正な進捗管理のもと工事を施工する必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		配水管更新工事等に伴う老朽給水管の更新及び給水管が輻輳する路線を対象とした配水管の新設による老朽給水管の解消により、給水管からの漏水が防止できていることから、施策である水道の管路の維持管理に貢献しています。

## 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		配水管更新工事等に伴い老朽給水管を更新するとともに、配水管が埋設されていない公道部で給水管が輻輳する路線を対象に配水管を新設し老朽給水管を解消することにより、更なる安定給水の確保と安全性の向上のための取組を推進していきます。

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水環境・地球環境への配慮【環境】	
	施策 7	水道・工業用水道の地球温暖化対策	
	取組 25	再生可能エネルギーの有効利用	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		環境に配慮した事業運営に取り組んでいくため、再生可能エネルギーを有効利用することで、地球温暖化対策に貢献します。	
取組の概要		地形や水位の高低差を利用した小水力発電や配水池上部等を利用した太陽光発電など再生可能エネルギーの有効利用を継続して実施するとともに、更なる再生可能エネルギーの活用に向けた検討を実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの有効利用           <ol style="list-style-type: none"> <li>小水力発電の継続(鷺沼配水池、江ヶ崎制御室、平間調整池)</li> <li>太陽光発電の継続(長沢浄水場、生田配水池)</li> </ol> </li> <li>再生可能エネルギーの活用に向けた検討           <ol style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの活用に向けた検討の実施</li> </ol> </li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

## 計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの有効利用           <ol style="list-style-type: none"> <li>小水力発電については、鷺沼配水池、江ヶ崎制御室、平間調整池の発電設備による発電を継続し、売電します。</li> <li>太陽光発電については、長沢浄水場及び生田配水池の施設上部を利用した発電設備により発電を継続し、生田配水池については売電、長沢浄水場については場内で自家消費します。</li> </ol> </li> <li>再生可能エネルギーの活用に向けた検討           <ol style="list-style-type: none"> <li>更なる再生可能エネルギーの活用に向けて、末吉配水池上部への太陽光発電設備の導入と、江ヶ崎制御室小水力発電設備の更新について検討を進めます。</li> </ol> </li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの有効利用</li> <li>①小水力発電については、鷺沼配水池、江ヶ崎制御室、平間調整池の発電設備による発電を継続し、売電しました。</li> <li>②太陽光発電については、長沢浄水場及び生田配水池の施設上部を利用した発電設備により発電を継続し、生田配水池については売電、長沢浄水場については場内で自家消費しました。</li> <li>・再生可能エネルギーの活用に向けた検討</li> <li>③更なる再生可能エネルギーの活用に向けて、PPA方式による太陽光発電設備の導入や小水力発電設備更新の発注方法などについて検討を進めました。</li> </ul>
--	--

指標分類		指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
		説明										
1	成果指標	<b>再生可能エネルギーによる発電量</b>		計画目標値	-	3,790,000	3,790,000	3,520,000	3,520,000	3,790,000		kWh
		説明	鷺沼配水池、江ヶ崎制御室、平間調整池の水力発電設備と生田配水池、長沢浄水場の太陽光発電設備の年間発電電力量合計値	実績	3,703,330	3,864,798						
2				計画目標値	-							
		説明		実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I



## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	水道管理課
-----	-------

### 取組の概要

施策体系上の位置づけ	<b>基本目標 I</b>	安定給水の確保と安全性の向上 
	<b>10年間の方向性</b>	水環境・地球環境への配慮
	<b>施策 7</b>	水道・工業用水道の地球温暖化対策
	<b>取組 26</b>	<b>省エネルギー対策</b>
<b>取組の対象</b> (事業の対象となる人、物) <b>取組の目的</b> (対象をどのような状態にしたいか)	自然流下方式による水道システムの継続や上流取水の優先的利用、設備更新に合わせた高効率機器・省エネルギー機器の導入など、省エネルギー対策の実施により、地球温暖化対策に貢献します。	
<b>取組の概要</b>	省エネルギー対策として、地形の高低差による位置エネルギーを生かした自然流下による水道システムを継続するとともに、本市浄水場の統廃合に伴い未利用となった相模川上流の水源水量(14.2万m <sup>3</sup> /日)を活用し、企業団西長沢浄水場の取水の一部を下流から上流へ振り替え、導水ポンプの消費電力を削減する、上流取水の優先的利用の取組を進めます。また、設備更新などに合わせて、エネルギー使用の合理化に関する法律の基準を満たしたトップランナー機器の導入やLED照明設備等の高効率機器・省エネルギー機器の導入を進めます。	
<b>計画期間の取組内容</b> (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然流下による水道システムの継続</li> <li>・上流取水の優先的利用の推進</li> <li>・高効率機器・省エネルギー機器の導入</li> </ul>	
<b>当初の計画からの変更箇所とその理由</b> (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	<b>変更箇所</b>	
	<b>変更理由</b>	

### 計画 (Plan)

<b>今年度の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然流下による水道システムの継続</li> <li>①地形の高低差による位置エネルギーを生かした自然流下による水道システムを継続します。</li> <li>・上流取水の優先的利用の推進</li> <li>②上流取水の優先的利用の推進については、未利用となった本市の水源水量(14.2万m<sup>3</sup>/日)を企業団西長沢浄水場で活用するため、水利使用許可申請の手続きを進めます。</li> <li>・高効率機器・省エネルギー機器の導入</li> <li>③高効率機器・省エネルギー機器の導入については、長沢浄水場、第2配水工事事務所、潮見台高区ポンプ所へのLED照明設備の導入や鷺沼配水所の空調設備の更新を進めます。</li> </ul>
-----------------	--

## 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然流下による水道システムの継続</li> <li>①地形の高低差による位置エネルギーを生かした自然流下による水道システムを継続しました。</li> <li>・上流取水の優先的利用の推進</li> <li>②上流取水の優先的利用については、水利使用申請において、河川管理者から、将来の計画が明確でなく取水の確実性が担保されていない等の指摘を受けたことから、「神奈川県水道広域化推進プラン」に上流取水の優先的利用を反映し、県の計画として位置付けるなど、指摘事項への対応を行い、審査を進展させました。</li> <li>・高効率機器・省エネルギー機器の導入</li> <li>③高効率機器・省エネルギー機器の導入については、長沢浄水場、第2配水工事事務所、潮見台高区ポンプ所へLED照明設備を導入するとともに、鷺沼配水所の空調設備を更新しました。</li> </ul>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	計画目標値	-	47	49.1	51.2	53.3	53.3		%
		説明	2013年度の温室効果ガス排出量に対する削減割合	実績	31.8	34.7					
2			計画目標値	-							
		説明		実績							
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		予算額					
予算 決算 (単位： 千円)	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標を大きく上回って達成</li> <li>2. 目標を上回って達成</li> <li>3. 目標をほぼ達成</li> <li>4. 目標を下回った</li> <li>5. 目標を大きく下回った</li> </ol>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">4</p> <p>契約電力会社の電力排出係数が地球温暖化対策推進基本計画の想定値を上回ったため、成果指標は目標値を下回りましたが、自然流下による水道システムの継続や省エネルギー機器の導入を着実に推進することで、使用電力については、令和3年度実績から削減することができました。 市役所の温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比50%削減、2050年度までに実質ゼロの達成を目指し、引き続き、省エネルギー対策を推進していく必要があります。</p>

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 貢献している</li> <li>B. やや貢献している</li> <li>C. 貢献の度合いが薄い</li> </ol>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>契約電力会社の電力排出係数が地球温暖化対策推進基本計画の想定値を上回ったため、成果指標は目標値を下回りましたが、自然流下による水道システムや高効率機器・省エネルギー機器の導入により消費電力量の削減に努めるなど、省エネルギー対策を推進し、使用電力を削減するなど地球温暖化対策に貢献することができました。</p>

## 改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<ol style="list-style-type: none"> <li>I. 現状のまま継続</li> <li>II. 改善しながら継続</li> <li>III. 取組規模拡大</li> <li>IV. 取組規模縮小</li> <li>V. 取組廃止</li> <li>VI. 取組終了</li> </ol>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">II</p> <p>契約電力会社の電力排出係数が地球温暖化対策推進基本計画の想定値を上回ったため、成果指標は目標値を下回りましたが、自然流下による水道システムの継続や上流取水の優先的利用の実現、施設更新に合わせた高効率機器・省エネルギー機器の導入に取り組むとともに、庁内の一層の節電など省エネルギー対策を改善しながら推進していきます。</p>

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性		
	施策 8	水道・工業用水道の資源・施設の有効利用	
	取組 27	資源・施設の有効利用	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		浄水発生土を有効に利用し、水環境・地球環境へ配慮します。 施設の上部空間などの有効利用により、快適な地域環境の創造に貢献します。	
取組の概要		浄水場における水処理の過程で発生する浄水発生土を埋戻し用の材料となる改良土の原材料やセメント原料等として有効に利用します。 水道・工業用水道施設の上部空間などの有効利用の継続と環境整備を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水発生土の有効利用(長沢浄水場:改良土の原材料、セメント原材料等、生田浄水場:改良土の原材料)</li> <li>①長沢浄水場・生田浄水場の浄水発生土の有効利用</li> <li>・施設の上部空間などの有効利用の継続及び環境整備(鷺沼配水池、生田配水池、生田浄水場など)</li> <li>②施設上部空間などの有効利用</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

## 計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①長沢浄水場・生田浄水場の浄水発生土の有効利用については、浄水場の浄水処理過程で発生する浄水発生土を改良土の原材料やセメント原料等として、有効利用します。</li> <li>②施設上部空間などの有効利用については、施設の上部空間などの有効利用を継続(鷺沼配水池、生田配水池など)、生田浄水場用地の有効利用に伴い整備を進めていた生田ふれあい広場等の供用を開始します。</li> </ul>
----------	--

## 実施結果 (Do)

<b>取組内容の実績及び定性的成果</b> (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①長沢浄水場・生田浄水場の浄水発生土の有効利用 浄水発生土の有効利用を継続して実施しました。 ②施設上部空間などの有効利用については 施設の上部空間などの有効利用を継続しました(鷺沼配水池、生田配水池など)。 生田浄水場用地の有効利用の取組として市が整備を進めていた生田ふれあい広場・多目的広場や株式会社川崎フロンターレが整備を進めていたAnkerフロンタウン生田について、令和5年3月に供用開始しました。また、それに合わせて歩行者等の安全に配慮するため、用地の一部を利用して歩道の拡幅整備を行いました。
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	浄水発生土有効利用率		計画目標値	100	100	100	100	100	100	%
		説明	浄水発生土の年間有効利用量/浄水発生土の年間排出量×100(%)	実績	100	100					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		予算額					
予算 決算 (単位: 千円)	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

## 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A

## 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I

## 令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

## 取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	水環境・地球環境への配慮【環境】	
	施策 8	水道・工業用水道の資源・施設の有効利用	
	取組 28	再生資源利用の推進	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水道・工業用水道の工事を行う際に発生する建設副産物を可能な限り再資源化し、工事資材に積極的に活用するなど環境型社会の構築を図ります。	
取組の概要		水道・工業用水道工事で発生するアスファルトコンクリート等は可能な限り再資源化し、工事資材に積極的に活用するなど環境型社会の構築に向けた環境施策を継続的に実施します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生資源材料の工事への積極的な採用</li> <li>①再生資源材料の採用の推進</li> <li>・工事で発生した建設副産物のリサイクルの推進</li> <li>②建設副産物リサイクルの推進</li> </ul>	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

## 計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アスファルトコンクリート等の再生資源材料を水道・工業用水道工事において積極的に採用します。</li> <li>②解体工事や撤去工事において発生するアスファルトコンクリート等の建設副産物を可能な限り再資源化します。</li> </ul>
----------	---

### 実施結果 (Do)

<p><b>取組内容の実績及び定性的成果</b>                  (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①アスファルトコンクリート等の再生資源材料を水道・工業用下水道工事において積極的に採用しました。                  ②解体工事や撤去工事において発生するアスファルトコンクリート等の建設副産物を可能な限り再資源化しました。</p>
---	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値								
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		予算額					
繰越					0		
予算額					0		
決算額					0		
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

### 評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		建設発生土を改良土として計画的かつ継続的に利用するためには、その受け入れ先である改良土プラントと事前の利用調整が不可欠です。現在、市が指定する改良土プラントは1社しかないので、必要とする改良土の土量を大幅に変更する場合などは、十分に基幹的余裕をもって調整する必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		水道・工業用下水道の工事を行う際に発生する建設副産物を可能な限り再資源化し、工事資材に積極的に活用するなど循環型社会の構築に寄与しています。

### 改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		今後も継続的に再生資源を工事資材として使用し、循環型社会の構築に貢献していきます。